えんじょいスポーツ　野本ミニバススポーツ少年団

今回は、創立56年目を迎えた野本ミニバススポーツ少年団の皆さんを紹介します。

団員は81人で、水曜日と週末の週3回ほど野本小学校体育館で活動しています。楽しく活動しながらも、チームのモットーは「あいさつ・返事・一生懸命」です。とにかく走って頑張る、パスでつないでシュートまでを早くする速攻型のチームを目指しています。

団員の金本咲良（かねもとさら）さんにお話を聞くと「母の影響でバスケを始めました。皆で声を出し合い、全力でプレーすることを心がけています。試合では、バスケットカウント（※）をもらったときがうれしいです。試合に勝ったときは最高です!」と笑顔で話してくれました。

指導スタッフからは「小学校就学前から一緒にバスケを始めたメンバーもいますので、意思疎通が図れ団結力があるチームです。また、卒団生が地元に残ってその後、親になりスタッフとして協力してくれることがとてもありがたいです」とのこと。

また、団では夏季野外活動（キャンプ）や冬季野外活動（スキー教室）等を通して、人との関わり方や色々な経験をすることで自分に自信を持つ心の育成などを目指しています。

今年の目標は、男女ともに県の北部地区予選で上位に入り、県大会出場を掲げています。

皆さんの今後のご活躍を期待しています。頑張ってください。

※攻撃側の選手がシュートモーションの途中で守備側の選手からファウルを受け、かつそのシュートが決まったときのこと。

野口幸子（のぐちさちこ）園長

埼玉県こども動物自然公園

動物ZOO鑑

園長おすすめ　～キリン～

自慢はキリン

動物園で働いていて一番の自慢は、職場にキリンがいることです。動物がいるのは当然と思われるかもしれませんが、毎日キリンのそばで仕事ができるのは、本当に特別なことだと感じています。

私が初めてキリンの飼育に携わったのは、飼育係になって3年目のこと。先輩とキリン舎の2階でエサの乾草を準備していると、柵越しにキリンが下から顔を出してきました。まじかに見るその大きさに感動したことは今でも忘れられません。数年後、映画『ジュラシック・パーク』で、ブラキオサウルスが木の上にいる主人公の足元の葉を食べるシーンを観たとき、「キリンと同じだ！」と興奮したのを覚えています。恐竜は過去の存在ですが、キリンは今を生きる奇跡のような動物です。長い首や脚、独特の模様、そしてゆったり歩く姿。そのすべてが美しく、同じ時代に生きていられることをとてもうれしく思います。

約8年間キリンの飼育に携わり、何度か出産を見守ったことがあります。今年5月16日には、母親リンが6度目の出産を迎えました。今回は数日前に出血があり心配していましたが、30～40分のスピード出産になり、赤ちゃんは１時間で立ち、2時間後には授乳も確認されました。とても安産で安心しました。

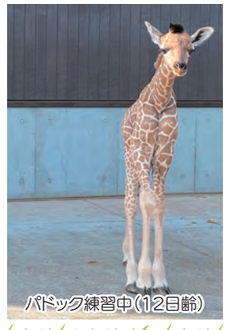
もちろん、すべてが順調なわけではなく、育たない命もあったり、人工哺育になったりしたケースもあります。それでも1982年、多摩動物公園から初めて4頭のキリンがやってきて以来、出産、新しい血統の導入、他園への搬出などを重ね、多くのキリンたちがここで生きてきました。

6月中旬からは赤ちゃんの公開が始まり、親子で過ごしたり、群れの仲間に入ったりする様子が見られています。ぜひ赤ちゃんに会いに来るとともに、動物園でキリンの魅力を感じてください。

※8月号は植物ZOO鑑です。

下から餌を食べるキリン

生まれた日の赤ちゃん



パドック練習中（12日齢）

埼玉県こども動物自然公園
〒355-0065岩殿554　☎35-1234 FAX35-0248
開園時間等はHPをご確認ください。
埼玉県こども動物自然公園HP

まちかどスケッチ

高田博厚（たかたひろあつ）と東松山市の関わりを学ぶ

5月16日（金）、高坂丘陵市民活動センターで文化芸術講座「高坂彫刻プロムナード」を実施しました。

高坂駅西口を彩る彫刻群の作者「高田博厚」の経歴を交えながら市との関わりを紹介し、参加者は時折大きく頷（うなず）きながら講義に聞き入っていました。

高田博厚の彫刻の特徴は、その人の内面を映し出しているところだそうです。一体一体の個性を感じながら高坂彫刻プロムナードを歩いてみるのも良いですね。

高田博厚作…高村光太郎（たかむらこうたろう）

親子野遊び教室

5月31日（土）、高坂丘陵市民活動センターで「親子野遊び教室」を開催しました。雨天により室内での開催となりましたが、虫に関するクイズやクワガタなどの標本にこどもたちは大盛り上がりでした。キャンプ飯コーナーでは、協力してメスティン（※）による炊飯や魚の缶詰を使ったカレーを作り、親子の笑顔をたくさん見ることができました。※お米を炊くための箱型の飯ごうの一種。

イチゴを知る

5月20日（火）、農林公園で社会教育講座「イチゴについて知ろう」を開催し、18人が参加しました。イチゴの基本知識をはじめ、栄養と健康効果、栽培等についてクイズ形式で楽しく学びました。

最後にイチゴの摘み取りがあり、参加者は新鮮なイチゴを笑顔で持ち帰りました。

今年もホタルが飛んでいます！

6月7日（土）、市農林公園近くの新屋敷（あらやしき）ホタルの里と東谷（ひがしやつ）ホタルの里で、ホタル観賞会を開催しました。5月下旬～6月下旬にかけて活発で力強く光るゲンジボタルが今年も飛び交っていました。草むらで優しく光るヘイケボタルは6月下旬～8月頃に見頃を迎えます。

会場では、新屋敷ホタルの里づくり推進委員会の皆さんからの説明もあり、ホタルの習性や出やすいポイントを学べました。家族連れの姿も多く、こどもたちは幻想的なホタルに目を輝かせていました。

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

ミニミニ情報

人口と世帯（6月1日現在）

人口：91,210人	（＋ 38）
男：45,748人	（＋ 24）
女：45,462人	（＋ 14）
出　生（5月中）：49人	（＋ 11）
死　亡（5月中）：82人	（－ 7）
転入等（5月中）：376人	（－267）
転出等（5月中）：305人	（－180）
世帯数：44,029世帯	（＋ 40）

＊（　）は前月比

交通事故発生件数（5月中）

発生件数：327件※
人身事故：27件（死者：0人、けが人：29人）
物損事故：300件
※東松山警察署管内（東松山市、滑川町、川島町、吉見町）の件数

火災と救急件数（5月中）

火災件数：1件
救急件数：443件（交通：17件、急病：283件、その他：143件）
搬送人員：386人

ごみ処理に関する情報

～ご協力ありがとうございました～
令和7年度ごみゼロ運動参加団体

自治会	124団体	16,320人
協力団体	13団体	600人

詳しくはこちら➡
問廃棄物対策課
☎21-1401 FAX23-7700
市HP